

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	10-4	
PDCA	主要事業名		安心・安全なまちづくり事業		部課名		総務部防災安全課			担当	藤井	
											内線	285
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災											
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 8,855 千円											
	会計 一般会計 歳出科目： 02.01.10.03.50											
	事業概要等		【安心・安全なまちづくり助成金】防災・防犯において、住民が安心・安全に暮らせるまちづくりを推進するため、自治区が行う当該活動に要する費用に対して助成する。									
			【防犯カメラ設置補助金】地域防犯のために防犯カメラを設置する費用の一部（設置費の3分の2）を補助する。									
			事業目的： 自治区の防災・防犯活動を助成することで、住民の防災・防犯意識の高揚を図る。									
			事業内容： 42自治区118,873人（前年度比-717）に対して助成する。									
	問題点・課題等： 活動が硬直化しやすいことや地域の実情を踏まえた上で、防災・防犯力が高まるよう助成等： 言をしていく必要がある。											
	予算額		主要事業とする理由									
	8,855 千円		安心・安全に暮らせるまちづくりの推進には、住民の防災・防犯意識が大きく関係しており、自治区の防災・防犯活動を助成することによってそれらの高揚を図るため。									
	財源内訳											
	市費		得られる成果									
	1,000 千円		各自治区が行う防災・防犯活動に対し費用を助成することで、自助、共助の意識向上を図る。									
国費												
0 千円												
県費		目標値や目指すべき状態				令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
		助成金交付自治区数		実績値	42	41	—	自治区				
0 千円				目標値	42	42	42	自治区				
				実績値								
その他				目標値								
				実績値								
7,855 千円				目標値								
				実績値								
D 実績値	決算額		得られた成果									
	7,981 千円		42自治区が行う防災・防犯活動に対し費用を助成したことで、自助、共助の意識向上を図ることができた。									
			成果指標						令和4年度	単位		
			助成金交付自治区数				実績値	42	自治区			
							目標値	42	自治区			
C 課題の整理	事業の評価・課題		B									
			年度当初の自治区へ助成金の説明に加えて、2回目の通知時期を12月から8月に早期化をし、さらに12月に未提出の自治区へ再周知を実施した。また、助成金の活用が見込めない自治区には、実情に応じた活用ができるよう必要物品の提案をした。その結果、42自治区すべてに助成を実施することができ、防災意識の向上につながった。 防犯カメラ設置補助金については、2自治区へ3台を補助し、地域の防犯意識の向上につながった。									
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		現状維持									
			硬直化しやすい傾向にある地域活動の実情や新型コロナウイルス感染症の5類移行など社会環境の変化に対応できる効果的な助言をしていく必要がある。安心・安全に暮らせるまちづくりの推進には、住民の防災・防犯意識が大きく関係しており、自治区の防災・防犯活動を助成することによってそれらの高揚を図っていく。沿岸部など地域の特性に応じた災害リスクに地域が主体的に備えられるよう引き続き制度の活用を呼びかけ自助意識を向上させていく。									
	観点別評価		必要性		有効性			効率性				
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度		⑦コスト削減	ない			
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		余地					
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		⑧受益者負担適正化余地	ない				

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用